

平成 24 年度第 3 回鎌倉市食育推進会議 会議録

日 時：平成 25 年 3 月 6 日（水）18 時 30 分～19 時 30 分

会 場：鎌倉市役所第 4 分庁舎 823 会議室

出席者：＜委 員＞中村委員、中谷委員、安齊委員、落合委員、高木委員、高橋委員
富田委員、佐々木委員

＜職員等＞食育連絡協議会（庁内）

高齢者いきいき課長、教育総務課長

事務局（市民健康課）

大澤市民健康課長、

西山課長補佐兼健康づくり担当係長、深谷管理栄養士、大隅

事務局（大澤次長）

皆さまこんばんは。

事務局を務めさせていただきます、市民健康課の課長の大澤でございます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

まだ、若干遅れていらっしゃる方もいらっしゃいますが、定刻になりましたので、始めさせていただきますと思います。

本日は平成 24 年度第 3 回の鎌倉市食育推進会議ということになります。今年度最後の会議になりまして、第 2 期の食育推進計画についてご議論いただく最後の機会となりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

なお、本日、部長以下、課長クラスがほとんど欠席させていただいていますが、実は今日、本会議をまだ議会でやっておりまして、そういったこともありまして欠席のところもご容赦いただければと思います。

では、中村会長、会議の進行をよろしくお願ひいたします。

中村会長

ありがとうございます。みなさん、こんばんは。

お忙しい中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。

只今、事務局から会議の成立について報告がありましたので、これより、平成 24 年度第 3 回鎌倉市食育推進会議を開会いたします。

先日、2 月 28 日に国の食育推進会議が内閣府でございました。

今回は、全国で非常にうまくいき、熱心に食育に取り組んでいらっしゃる 3 か所の地域の報告がありました。3 か所について具体的に申し上げられないのですが、全体的に何が成功しているかといいますと、まず第 1 にそこの市町村の首長さんがリーダーシップを発揮してやっていらっしゃるところが成功しているということです。いろいろ反対があっても、これは町の方針だとか市の基本方針だといってみんなを

引っ張っていく。ある市は、市長さんが立候補する時の基本政策の中に食育を掲げて選挙に出て、当選し、食育条例を作っていたらいいと思います。その条例は、食べるということを軸にして、例えば台所から出るごみの問題とか、農業問題、健康の問題、まちづくりの問題、市全体にかかわるものを「食べる」というキーワードで町おこしをやられているのです。それともう一つは、今の事例は上からでしたが、下から盛り上がってくる事例として、ボランティア活動が機能しているところがありました。都市型の食育が成功した例なのですが、食育をリードしている有名な方が、食育の大事さをあらゆるところで言って歩いていらっしゃるのです。何か集まり事があると、食育のメンバーが集まってきて、町のイベントに参加しているというようなことを言っておられました。

いわゆる、上からも下からも両方の力がうまく動いているところが、うまくいくのだらうと、その3か所の取り組みについて思いました。

そういうこともありましたので、ご参考までにお話しました。

では、会議次第に従い、議題1「パブリックコメントの集計結果について」に移らせていただきます。事務局から説明をお願いします。

事務局（西山補佐）

市民健康課の西山です。

まず、本日の資料の確認ですが、事前にお送りしておりますが皆様お持ちいただきましたでしょうか。

それでは、議題1「パブリックコメントの集計結果について」の、説明をさせていただきます。

【資料1】の「次期「鎌倉食育推進計画」(案)に対する意見募集の結果について」をご覧ください。

意見募集は、平成24年12月10日（月曜日）から平成25年1月9日（水曜日）までの期間で行いました。計画書案と意見用紙は、ホームページに掲載するとともに、市民健康課の窓口、4支所、青少年会館2か所、子育て支援センター3か所、老人福祉センター4か所及び老人いこいの家の計15か所で配布しました。

意見を提出いただいた方の総数は5名で、いずれも市内在住の方でした。頂いた意見とそれに対する市の考え方は、お配りした資料1のとおりです。

なお、パブリックコメントは、多様な意見をいただくことが主旨ですので、類似の意見を集約し、「意見概要」としており、固有名詞など、表現を変えているところがあります。

また、この資料は、2月20日から「次期「鎌倉食育推進計画」(案)に対する意見募集の結果について」として、鎌倉市ホームページで公表しております。

それでは、いただいたご意見と市の考え方についてご説明いたします。

資料1の1ページ「食や食育の現状についての意見」の1番目をご覧ください。

「食のバランス感覚を養い、朝食の欠食率改善のための教育を行う必要があると思います。」というご意見をいただきました。このご意見に対して市の考え方は、「学校等での食教育や行政の各部署で食育の講座を行う中で食のバランス感覚について啓発していきます。また、乳幼児期から後期高齢期に至るすべてのライフステージに合わせて、健康的な生活習慣を確立するための望ましい生活リズムを推進するよう、今後策定する行動計画の中で表すことを検討していきます。」としております。

つづいて2番目ですが、「空いている農地を活用するとともに、農業への関心をもってもらうよう広報で作物の作り方を紹介することが必要だと思います。」というご意見をいただきました。このご意見に対して市の考え方は、産業振興課からのコメントとして、「市と農業委員会で連携し、農地所有者の意向を確認しながら農地としての活用を図っていきたくと考えています。また、広報や市ホームページなどに機会を捉えて作物の成育方法等の情報を発信できるよう検討していきます。」としております。

3番目は、「朝食や夕食の共食頻度を増やすためにも共食が少ないことへの原因を分析して、統計を取る必要があると思います。」というご意見をいただきました。このご意見に対して市の考え方は、「第2期鎌倉食育推進計画」では、「朝食又は夕食を家族と一緒に食べる「共食」の回数の増加」を指標とし、国全体の状況と比較するようにしました。」としております。

4番目は、「食育とは聞きなれない言葉なので、分かりやすく周知してほしいと思います。」というご意見をいただきました。このご意見に対して市の考え方は、「食への関心と理解を深められるよう、わかりやすい食育を心掛けていきます。また、必要な情報を入手できるように情報提供を行っていきます。」としております。

次に、2ページにまいりまして「第2期鎌倉食育推進計画（案）に対する意見」の5番目をご覧ください。

「学校給食でアレルギー体質が原因で事故が発生しています。この対策について記述してください。」というご意見をいただきました。このご意見に対して市の考え方は、学務課からコメントをしておりまして、「学校給食における児童のアレルギー対応については、保護者と校長、教頭、担任、養護教諭と栄養士が連携をとり、行っています。学校における食物アレルギー対策については、今後、策定する行動計画の中で表すことを検討していきます。」としております。

6番目は、「パン食より、米食に主力を入れていることが分かるように記述してください。」というご意見をいただきました。このご意見に対して市の考え方は、「ご意見を参考に、米を中心とした様々な副食から構成される日本型食生活について加

筆し、日本の食の伝統や文化を推進していきます。」としております。

7番目は、「平成22年度の事業仕分けの結果、「食育」に関する事業は推進しないと決定したと思います。「食育」について自治体レベルで何かを行う必要はないと思います。」というご意見をいただきました。このご意見に対して市の考え方は、「平成22年度に行われた鎌倉市の事業仕分けにおいて、行政の役割と予算の使い方についての疑義から「事業の廃止」という結論が出されました。

しかし、市での検討の結果、食育事業は市民の身体と心の健康維持増進を図るため必要な事業であることから食育は今後とも推進していくことに決定しました。今後は、国が定めた第2次食育推進基本計画に沿う形で見直しを行い、食に関する取り組みを進めていきます。」としております。

以上で議題1の説明を終わります。

中村会長

ありがとうございました。いかがでしょうか。

何かご意見ありますか。

仕分けで推進しないと決められたのですか。

事務局（大澤次長）

事業仕分けで協議になったのは、経費の使い方というのももちろんありまして、市内でボランティア活動をされている方がたくさんいるのに、その中でまた食育のボランティアを育成するためにお金を使うというのはどうかと、そういう意味でのご意見で、そういう事業としては廃止というふうには、我々はとらえています。

パブリックコメントを寄せられた方は、食育全体を廃止と決まったじゃないかというお話でしたが、そういう意味ではなかったものと認識しております。

事業仕分けの結果を理事者と調整した結果、食育というのはやはり進めていくべきだろうということで、今後とも進めていくことで食育の計画も作っていくわけですし、先日の会議で食育クラブさんの存続についてどうかというお話もいただいたわけですが、食育クラブは我々が養成してきたところではあるのですが、この事業仕分けをうけて、今後は食育クラブ員を養成するのではなく、他のボランティア団体さんと同様に活躍していただき、市として支援できるところ支援していく、他の団体と一緒に支援していくように考えております。

中村会長

ご質問ございますか。

佐々木委員

「食育という言葉を知」ということについて情報提供していくということですが、例えばどんなルートでの周知をお考えですか。

事務局（大澤次長）

食育という言葉が分かりにくいということですが、我々はすでに一般化されていると思っているのですが、わからない方もいらっしゃるわけですから、基本に立ち返って広報ですとかそういったところには載せていきますし、ホームページなども今後もう少し考えていきます。そういう意味で食育とは何ぞやという、食育という言葉の認知度を高めるということが必要になってくるのではと思います。

具体的な内容というのは、この食育推進計画の中でのそれぞれの行動計画ですとか、各分野でやっていくことになると思うのですが、そういう言葉があるということ、食育を進めるという考えがあるということを知っていくなかで、あらためてもう一度やり直す必要があると考えています。あらゆる媒体を使ってやっていきたいと思っています。

佐々木委員

高齢者の方は、食べることについて、わざわざ教育というというのは変だという話もありますが。

事務局（大澤次長）

そうですね。その辺は保健福祉事務所さんの方でもいろいろやっていただけると思いますので、一緒になってやっていただけたらと思います。

中村会長

他にありますか。

安齊委員

2の空いている農地を活用というところなのですが、農地を利用してやっていくということになると、今でも市の方で審議会等やられていると思うのですが、こういうものを増やしていこうという考えなのでしょうか、それともただホームページ上でこれから作る作物はこうなのですよということをお知らせしていただけないのか、案なので見えていない部分があると思うのですが、そこら辺を多少わかったら教えてほしいのですが。

事務局（大澤次長）

これは、産業振興課から聞いている話ですと、今も意向調査など遊休農地についてやっており、遊休農地の活用や所有者さんの意向を確認しながら使い道を考えて

いきたいというところがあると思います。

中村会長

他にございますか。

なければ次の議題の（２）次期計画の策定について、事務局から説明をお願いします。

事務局（西山補佐）

それでは、【資料２】鎌倉食育推進計画（第２期）案と本日配布いたしました【資料３】鎌倉食育推進計画（第２期）素案の変更内容一覧をご覧ください。

前回の平成24年10月25日第2回食育推進会議でいただいたご意見やパブリックコメント等により変更した点が、4か所あります。

はじめに、資料3から説明させていただきます。【資料3】の1番目をご覧ください。

「14 ページ以降の成果についての表の中で、「達成状況」とあるが、目標値に対してどのくらい達成されたかという表現になってしまう。目標には達していないが、改善はされたという状況を表現しているので、「改善状況」だと思う。」というご意見を前回の食育推進会議でいただきました。

こちらにつきましては、「改善状況」に訂正いたしました。

次に、【資料3】の2番目をご覧ください。

18 ページの県の重点項目について、「第2次神奈川県食育推進計画」計画素案の変更に合わせて、①と③を訂正しました。

「①の家庭における共食及び学校給食を通じた子どもへの食育の推進」では、「及び学校給食」の部分を従来の目標に追加しています。

「③の生活習慣病の予防につながる取組（未病を治す取組）の推進」では、「（未病を治す取組）」の部分を追加しています。

次に、【資料3】の3番目をご覧ください。

25 ページの基本施策2-2 鎌倉の食、日本の食の伝統や文化の推進について、パブコメの意見を受けて訂正しました。

こちらは、「米を中心とした様々な副食から構成され、栄養バランスに優れた日本型食生活」という説明文を追加しました。

次に、【資料3】の4番目をご覧ください。

「30 ページの指標（1）について、「関心」という一言では、あまりにも幅が大きすぎるような感じがする。」というご意見を前回の食育推進会議でいただきました。

こちらにつきましては、変更前は、「食品表示や食品の安全性について関心をもっている市民の割合の増加」という指標でしたが、幅が大きすぎるというご意見をうけまして、「消費期限や賞味期限などの食品表示や、食中毒の予防などの食品の安全性について関心をもっている市民の割合の増加」というように内容について具体的

に例示し、「関心をもっている市民の割合の増加」はそのまま使用しております。

次に【資料2】をご覧ください。

32 ページの「計画策定のための体制と経過」のあとに、推進黨議委員名簿、庁内會議の協議会・検討会名簿、これは課名のみ記載となります。食育基本法の抜粋、鎌倉市の食育推進黨議條例を添付しております。追加した部分は以上でございます、その他に計畫書の余白の部分には、イラストや写真を入れておりました、できるだけ多くの皆様に興味を持ってご覧いただければと思っております。

なお、24 ページをご覧いただきたいのですが、下の方に写真を入れる予定なのですが、現在空欄になっております。こちらにつきましては、本日、大船保育園で調理保育を行いましたので、そちらの写真を掲載する予定になっております。本日に合いませんので、申し訳ございません。また、28 ページの「1人暮らし高齢者の会食会」の写真につきましては、本日机上にお配りしたものを掲載してまいります。

中村会長

調理保育とはどんなものでしょうか。

事務局（深谷）

調理保育についてですが、5歳児のクラスの子どもたちが保育の時間の中で調理を行うもので、今回はカレーを作っています。子どもたちが全て作るわけではないのですが、食材の皮をむいたり切ったりなどの調理体験をして、その後、調理室の先生に渡して最後まで調理してもらい、お昼ご飯に食べているようです。

中村会長

ありがとうございました。いかがですか。今日が最後ですので、これまでのところで、なにかありますか。

とてもスマートによくまとまっていますね。

鎌倉の大根でこうやって作られるのですか。（26 ページの写真）

安齊委員

私は話には聞いているのですが、漬物用の大根を作っているみたいです。

中村会長

最近、たくあんは食べないみたいですが。

富田委員

うちは、給食で出します。理事さんのところで畑をやっていて、大根を採ってたくあんを作っているの、それを出します。たくあん、子どもは好きですよ。

中村会長

この表紙は、鎌倉らしいメニューなのですか、鎌倉の特徴が出ているような感じがよいですね。

事務局（西山補佐）

和食のイメージで考えてみました。

落合委員

14 ページの「中食・外食とうまくつきあう」に、「食品栄養成分表示を参考にし
て」と出ていますけれど、栄養成分だけではなく、食品添加物の勉強も子ども達に
勉強してもらいたいなと思います。

食品添加物と生活習慣病はかなり大きな関係があると思われまので、これから
いろいろな活動の中で進めていただきたいと思います。

中村会長

なるほど。どこに入れるのですか。

落合委員

入れられるかどうか、今ちょっとわかりませんが。

事務局（大澤次長）

丁度ここに「食品栄養表示を確認し」と指標になっています。行動計画を今後作
っていきますので、その中で例えば、学校給食の話、前から出ている放射能の話も
一緒なのですが、そういう中でこういう取り組みをしていますとか、学校の栄養の
時間にこういう話をしていきますとか、そういうことを行動目標として載せていける
とは思いますが。あるいは、市民相談課でやっている消費生活の立場で、食品添加物
や食品表示について取り扱っていますので、十分載せていけるとは思いますし、そ
ういうことは重要だと訴え続けていくつもりでいます。

高橋委員

今後の中身というか、今後の計画を項目立てていくところで、15 ページの行動計
画の 2 番になるのかなと思うのですが、例えばある地域ではその食材だとか伝統
食だとかを小学生が作ることができる体験を授業の中でして、大きくなってもそれ
が身についてあたりまえというように引き継がれていくところもあります。せつか
く、けんちん汁みたいにな有名なものがあるのであれば、鎌倉市でも 5 歳児の調理保
育でも結構いろいろなことができますし、包丁ももちろん使えますし、炒めるよう
なこともできますし、みそを作ったりもやったりしますので、幼稚園とか保育園の
年長さんぐらいの時も、そういう伝統食を作ってみるとい体験をしてみる。また、

小学校の家庭科の実習の中でも同じようにけんちん汁を作ってみるというような、ことがあってもよいのではないのでしょうか。学校によっても食育のやり方が全く違って、そういう体験もしない学校もありますし、もちろん、ごはんと味噌汁作って終わりというようなところもあったり、まったく違うものでやったりとばらばらであるので、そういう過程が必ず小さい時と小学校の時と体験ができるようなカリキュラムを作っていたらと、鎌倉で育っていく中で必ず経験する、身に付けていける、大きくなって大人になった時に鎌倉の食として伝統食がそれなんだというのが知らず知らずのうちに入っていくというような、そういうような授業計画とか何か立てていただくとありがたいなと思いますが、そういうのはできそうですか。

事務局（大澤次長）

保育園の方は私やったことがないのですが、学校の中ですとけんちん汁など給食だよりなどに載せて、作り方なども載せてご家庭でお作りくださいとしています。学校の中の食育というと給食の時間の関係と授業の関係がありますので、その中で今おっしゃったようにそれぞれ栄養士さんと担任の先生との話し合いでいろいろな方法をとって進めています。今、学校の方でも確か小中学校合わせて栄養教諭が兼任で3名ほど配置されていますので、その方たち中心に食育の担当者のような方もいらっしゃると思いますので、そういうところに投げかけてある程度同一歩調がとれるように、うちの方からも頼んでいきたいと思っています。

高橋委員

やはり紙だけだと親はそのまま素通りをしてしまうというか、子どもが体験することで、子どもが家でそれをやりたいと思って親を動かすというか、それがすごく大事だと思うので、ぜひ小さいところから実際に体験するということを実現することをよろしくお願いします。

富田委員

こういう計画の中で、あまり細かいところまで言ってしまうと、ここからおろすのに今度大変になってしまうのですけれど、高橋委員がおっしゃったように最低限ここだけはやってほしいなという部分だけはこれに盛り込んでいただけたら、共通できることがすごく増えるのではないかと思います。

事務局（大澤次長）

来年度になってからですけど行動計画を考えていく上で、少し今までとは違う形にしたいと思っています。この前の牧田委員さんからのご意見もいただいていますので、この場でどんな内容を入れたら良いかというご意見をいただいて、役所の中で、できるかどうかの判断をしていくとか、先ほどのけんちん汁の話もそういう形で投げ

かけながら、行動計画にそれを入れるかどうかは別ですけれど、できることはやっていく。市のほうのホームページに載せるとか、学校ではこういうことをみんなでもやっていますということについて、色々ご意見いただいて項目立てをしていきたいなと思います。来年度になりますけれどよろしくお願ひしたいと思います。

中村会長

他にありますか。

落合委員

今、いじめの問題があつて、各学校でいろいろな対策を考えられているようですが、例えば食事で砂糖の取りすぎでカルシウムがすごく損なわれて低血糖になって、それがもとでイライラしたり、暴力をふるったり、いじめになったり、逆にうつになったり統合失調症になったりするものがものすごくあると思うのですね。ですからそういう食の研究からいろいろ検討していただけたらなと思います。

中村会長

今、そういう検討会はあるのですか。

事務局（大澤次長）

教育委員会の最近の動向はわからないのですが、いじめの検討会はわからないのですが、いじめの相談の電話はつくろうというような話は聞いています。おっしゃっていたように、食については、イライラするとか、いじめの直接の原因ではないにしても、そういったことは言われていますし、そのために食育もありますし、そういうところも考えた上での食育を進めたいと思いますし、アピールしていきたいと思います。学校の授業の中でもそれは言っていると思いますが、教育委員会へもお話は伝えていきたいと思います。

落合委員

勉強会があつたらそういう方面もお願ひしたいと思います。

事務局（大澤次長）

心にとめて、何かありましたら、ぜひ。

中村会長

他にありませんか。

ないようでしたら、第2期の鎌倉食育推進計画は、これでよろしいでしょうか。

(承 認)

中村会長

では皆様からお認めいただいたということにいたします。ありがとうございます。
事務局から何かありますか。

事務局（大澤次長）

それでは、お認めいただいたということで、理解させていただきます。
ただ、もう少し見直しをさせていただいて、誤字脱字等、若干写真のこともございますので、そういったところの見直しをさせていただいて、最終案を会長さんの方にお見せして最終承認をいただき、その後うちの方で決裁等とらせていただくようなかたちをとりたいと思うのですが、それでよろしいでしょうか。

中村会長

では、計画の最終確認については、私に一任いただけるということでよろしいでしょうか。

（承 認）

中村会長

ありがとうございます。
事務局、他に何かありますか。

事務局（西山補佐）

今後のスケジュールについてですが、最後に少しお話させていただきましたが、計画案の最終修正を行いまして、その後、中村会長にご確認いただきましたあと、市長決裁を得て計画として確定します。以上が今後のスケジュールです。

中村会長

ありがとうございました。では、終わりになるのですが、みなさまからご意見、ご質問等がありますか。
皆様、よろしいでしょうか。では、よろしくお願ひします。
他に何かありますか。

事務局（大澤次長）

今回ですね、推進計画について議論いただきまして、委員の皆様のお蔭とっております。どうもありがとうございました。
この会議は、来年度も引き続き、今年3回でしたが来年度おそらく2回、通常の開催をさせていただく中で、行動計画等の策定、当面はその辺についてご意見をいただくことになると思います。事務局の方である程度案を作りながらご提供させて

いただきますが、前もって先ほどのように何かご意見ありましたら、電話やメール等でいただければ、その辺も含めて考えながら進めさせていただきたいなと思いますので、よろしくお願いいたします。

本当に忙しい中、ご議論いただきましてありがとうございました。

今後ともよろしくお願いいたします。

中村会長

では、これで推進会議を閉会いたします。ありがとうございました。